

令和5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会 議	名称	第2回 相談支援専門員連絡会	参 加 者 数	33 人	会 場	伊那市福祉まちづくりセンター 第1、2研修室
	日時	令和5年 8月 31日 (木) 13:30 ~ 15:30				
主 題 マ	(1) 就労アセスメントの活用について (2) グループワーク (3) 事業所紹介 (4) その他					
主 な 意 見 な ど	1, 開会 (司会進行・副部長) 2, 部長挨拶 3. 内容 (1)について 就労アセスメントの活用に関する取り組み発表。 ○ふらっと相談支援センター 相談支援専門員 菅野明子 氏 養護学校在籍中の卒後支援の事例についての発表。 ・就労アセスメントは客観的な評価のため、支援者と家族間の見立てのずれの調整に有効である。 ・仕事だけでなく生活全体の課題を確認できる内容であるため、支援者や家庭がどこに力を入れて関わるかが視覚化できる。 ・将来を見据えた早めの卒後支援が大切である ○(株)暖 障がい者多機能型事業所おふしょん・おふしょんα 管理者 田平潤 氏 就労アセスメントを実施している立場からの発表。 ・最近の傾向として、在学中のアセスメントの依頼が増加している。高校から、進路を考えることを目的とした依頼が多くなった。 ・支援者や受け入れ企業からは、働く希望のある方への支援や対応を検討する目的での依頼が増えている。 ・アセスメントは、支援方針(支援プログラム)を組み立てるための基礎資料であり、働きたい人を応援するツールとして地域の中でもっと活用できないかと思う。					
ま と め	・就労アセスメントの活用方法について、理解を深めることができた。今後、新たなサービス(就労選択支援)も始まるため、今後も情報共有を図る。					
次 回	令和5年10月27日(金)10:00～ 伊那市福祉まちづくりセンターにて					